

5月の乳幼児の健康診査

\*該当月に受けられない場合は子育て支援課または各支所保健福祉課へ連絡してください

地域	内容	対象	日	受付時間	場所
一関 花泉	3～4カ月児健診	29年1月1日～19日生まれ	24㊦	12:45～13:00	一関保健センター
		29年1月20日～31日生まれ	25㊦		
	9～10カ月児相談	28年7月1日～20日生まれ	24㊦	8:45～9:00	
		28年7月21日～31日生まれ	25㊦		
	1歳6カ月児健診	27年10月1日～16日生まれ	18㊦	12:45～13:00	
		27年10月17日～31日生まれ	19㊦		
2歳6カ月児歯科健診	26年11月1日～13日生まれ	18㊦	8:45～9:00		
	26年11月14日～30日生まれ	19㊦			
3歳児健診	25年11月1日～9日生まれ	11㊦	12:45～13:00		
	25年11月10日～30日生まれ	12㊦			
大東 千厩 東山 室根 川崎 藤沢	3～4カ月児健診	29年1月生まれ	23㊦	12:45～13:00	川崎防災センター
		28年7月生まれ	16㊦		
	9～10カ月児相談	27年10月生まれ	18㊦	12:45～13:00	千厩保健センター
		26年11月生まれ	16㊦		
	1歳6カ月児健診	27年10月生まれ	18㊦	12:45～13:00	
		26年11月生まれ	16㊦		
2歳6カ月児歯科健診	26年11月生まれ	16㊦	12:45～13:00		
	25年11月生まれ	17㊦			

\*きょうだいなどの同伴で手伝いが必要な人は託児スタッフが対応します。健診日の2週間前まで申し込んでください

☎子育て支援課（一関保健センター内）または各支所保健福祉課

information

ふれあいひろば

☎一関子育て支援センター ☎21470  
◇日時…㊦・㊧・㊨・㊩ 9:30～15:30、㊪・㊫  
13:30～15:30(㊬を除く)  
◇場所…一関保健センター

傾聴サロン

☎健康づくり課 ☎2160  
悩みや不安を話して、少しでも気持ちを楽にしてみませんか？あなたの気持ちに寄り添って話を聴きます。  
◇日時…5月16日㊦10:00～11:30  
◇場所…一関保健センター  
◇内容…傾聴ボランティア会員による傾聴

5月の栄養相談

☎健康づくり課 ☎2160  
◇日時…5月8日㊦、5月22日㊦9:00～16:00  
◇場所…一関保健センター  
◇内容…離乳食の進め方や生活習慣病を予防する食事や栄養に関する相談

保健所の5月の検査など

☎一関保健所 ☎1415  
【①骨髄バンクドナー登録と②血液等検査】  
◇日時…5月9日㊦ \*時間は①9:00～9:30②10:30～11:50  
◇場所・費用…一関保健所・無料  
◇申し込み…前日12時までに予約 \*②の検査種類はHIV、肝炎、クラミジア、梅毒  
【医師によるこころの健康相談】  
◇日時・場所…5月11日㊦13:30～15:30・旧千厩合同庁舎  
◇申し込み…5月8日㊦までに要予約

一関市  
公共施設等  
総合管理計画

☎本庁財政課  
☎8233

今後30年間で建物の3割を縮減

公共施設のこれからを考える

市は所有する公共施設等の適正管理に向けた基本的な考え方や、取り組みの方向性をまとめた「一関市公共施設等総合管理計画」を策定しました。今後は、この計画に沿って、公共施設等を長期的な視点で総合的かつ計画的に管理していきます。

**■策定の背景**  
市の公共施設は、建築してから30年を超える施設も多く、修繕費の増加のほか、大規模改修や建て替えが同時期に集中することが懸念されます。今後も厳しい財政状況が予測される中、既存の施設を現状のまま維持していくことは困難な状況となつていきます。

人口の減少とともに年少人口の減少や老年人口の増加など、建築時に比べ公共施設を取り巻く環境は変化しています。また、市民のライフスタイルやニーズの多様化などから、公共施設の利用需要が大きく変化していくことも見込まれます。

このことから、市は、平成28年10月に、今後の公共施設等のあり方を検討するための基礎資料として、「一関市公共施設白書」を作成したところです。

**■公共施設白書から見た3つの課題**

① 厳しさを増す財政状況への対応  
② 人口減少・少子高齢化社会への対応  
③ 施設の老朽化への対応

**■計画のポイント**

① 計画期間は平成29年度から平成58年度までの30年間縮減に関する数値目標を

② 縮減が可能な面積：30年間で21万5511平方メートル  
\*年平均約7184平方メートルの縮減が必要

③ 公共施設等の管理に関する5つの基本的な方針に基づき取り組みを推進

④ 安全性の確保：定期的な点検・診断等の実施、耐震化の推進、安全確保のための対策の実施、供用廃止施設の除却など

⑤ 機能と数量の最適化：必要な機能の再編、必要数量の見直し、建て替えの際の面積抑制など

⑥ 維持保全の最適化：予防保全の考え方を取り入れた施設の長寿命化等に関する計画の作成、施設情報の蓄積(固定資産台帳、公共施設

カルテの整備など)、計画的なメンテナンスの実施など

▼持続性の確保：財政見通しとの整合、財源の確保、公民連携など

▼まちづくりの視点：施設情報等の公開、地域の実情と将来のまちづくりを見据えた検討、広域連携(施設の共同利用等)など

⑦ 施設類型(建物系施設17類型、インフラ系施設4類型)ごとに、その特性を踏まえ、管理に関する基本的な考え方を整理

**■計画の推進に向けて**

① 全庁的な取組体制を構築するとともに、情報の管理・共有を図ります。

② 中期計画(計画期間10年間)と短期計画(向こう3年分を毎年見直し)を策定し、進行管理を行いながら着実に推進していきます。

この計画を進めるためには、市民の皆さんの理解と協力が不可欠です。今後はシンポジウムや市民によるワークショップの開催など、広く意見交換の場を設け、参画してもらいながら計画を推進していきます。

**新生「一関市立千厩小学校」校章と校歌が決まりました**

千厩地域の5小学校が統合し、2018年度に開校を予定している新生「千厩小学校」の校章と校歌が決まりました。

校章は統合する各校が紡いできた歴史という名の風を受けて回る風車をモチーフにしたデザイン。千厩地域のフーデザイナー佐藤佑樹さん(33)が制作しました。

校歌は自然豊かな千厩で友達と共に楽しく学び、未来を切り拓く希望に満ちた子供た

千厩地域の5小学校が統合し、2018年度に開校を予定している新生「千厩小学校」の校章と校歌が決まりました。

校章は統合する各校が紡いできた歴史という名の風を受けて回る風車をモチーフにしたデザイン。千厩地域のフーデザイナー佐藤佑樹さん(33)が制作しました。

校歌は自然豊かな千厩で友達と共に楽しく学び、未来を切り拓く希望に満ちた子供た

**■新生・千厩小 校歌**  
作詞：井上久雄  
補作：千厩地域小学校  
統一推進委員会  
作曲：柴田誠太郎

一、校舎の窓に さらさらと  
希望のひかりが あふれてる  
学ぶよこび 楽しさを  
教えてくれる 千厩に  
今 爽やかな 風かおる

二、せせらぎ清く 美しく  
流れは続く 川がある  
手と手つないで 朝夕を  
仲良くかよう 千厩に  
今 新しい 未来がくる

**■新生・千厩小 校章**  
作成：佐藤佑樹

\*校歌の試聴(収録協力)  
指揮/村松玲子  
伴奏/小原愛菜  
合唱/岩手県立不来方  
高等学校音楽部  
録音/志和辰磨

医療と介護の窓

文・すがわら皮膚科クリニック院長 菅原 祐樹

在宅医療 —皮膚科の往診—

超高齢化社会の日本では、医療の現場は「病院から自宅へ」の流れが加速しています。周りの人の手助けを必要とせずに生活できる「健康寿命」は「平均寿命」のマイナス10歳といわれています。

多くの人は年齢とともに足腰が弱くなり、介護を要する度合いが高まります。病気があっても、自ら病院外来を受診することが難しくなり、在宅医療・往診に移行します。

在宅医療には、患者さんやご家族を含め、医師、薬剤師、ケアマネジャー、訪問看護師、介護士、ヘルパーさんなど、実にさまざまな職種の人に関わります。一関市医師会では、コーディネートの中心的役割を担うため、活動しています。定期的に多職種連携のためのネットワーク会議や研修会を開いて、交流や意見交換を行っています。

在宅医療の主導は内科ですが、皮膚科にも少なからず要望があります。高齢の人が皮膚病になる割合は7割と高く、当院でも一関市医師会所属医療機関として、外来受診が困難な人を対象に、床ずれ・皮膚炎・皮膚ガンなど皮膚病の往診を行っています。在宅や老人保健施設の患者さんを1カ月に100人ほど診ています。

私たちは、患者さんやご家族に貢献できたときに、とても大きなやりがいを感じます。病気の診断、原因の説明、軟膏処置の仕方、生活上の注意点など皮膚科医が患者さんやそのご家族に直接お話しすることで、在宅療養の質の向上に役立てればと思います。

☎健康づくり課（一関保健センター内）